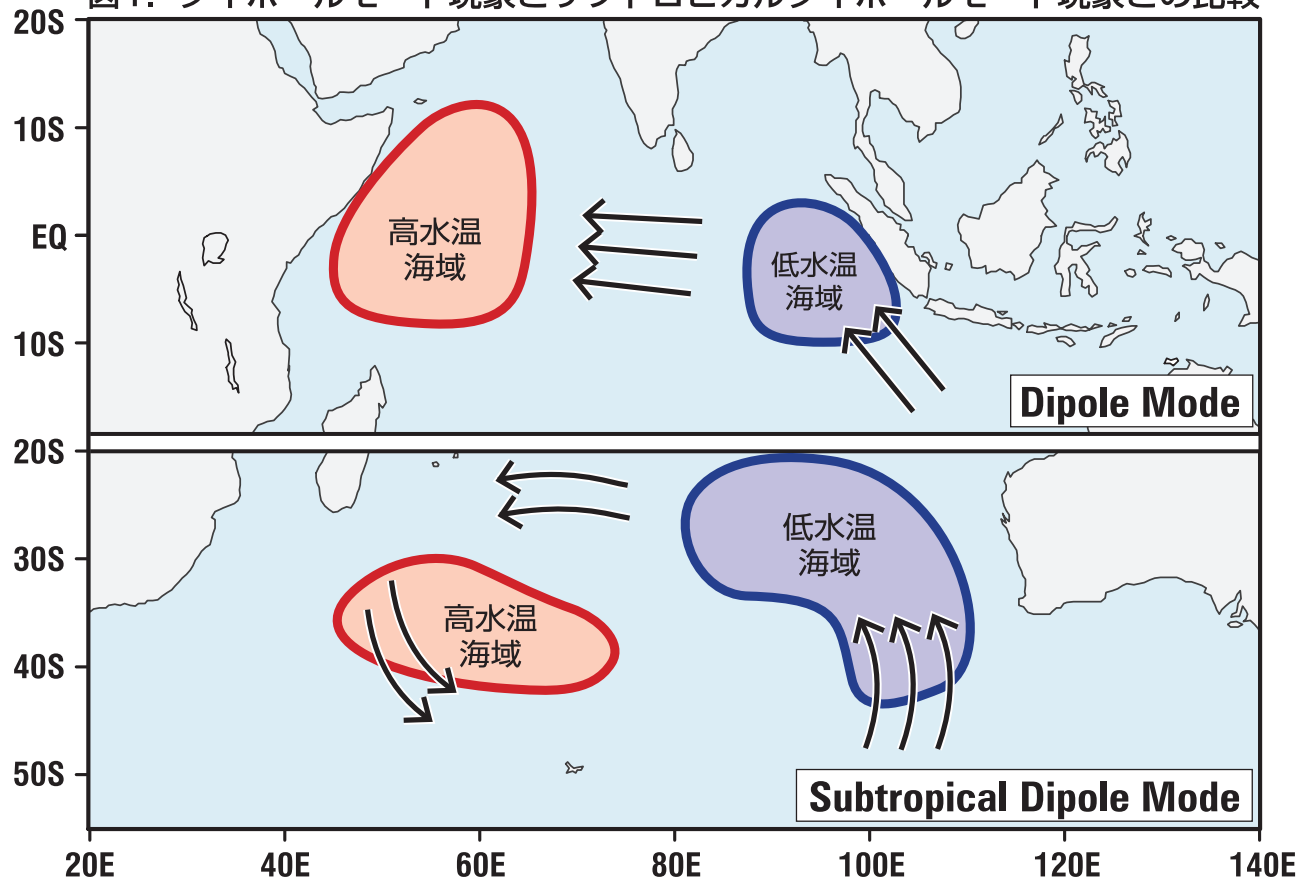


図1. ダイポールモード現象とサブトロピカルダイポールモード現象との比較



	ダイポールモード現象(上)	サブトロピカルダイポールモード現象(下)
発生海域	インド洋熱帯海域 (赤道を挟んで北緯10° から南緯10° の間)	南インド洋亜熱帯域 (南緯20° ~南緯50°)
発生時期	7月~11月(ピーク10月)	11月~3月(ピーク2月)
最近の発生年	1961, 1967, 1972 1982, 1994, 1997	1967-68, 1973-74, 1975-76 1980-81, 1981-82, 1992-93
発達のメカニズム	赤道上を吹く風と東西の海面水温 偏差が互いに助長し合って発達	高気圧周辺に吹く反時計回りの風と 海面水温偏差が助長し合って発達
最終状態	西側海面: 高温 東側海面: 低温	南西側海面: 高温 北東側海面: 低温
気候変化	インド洋東部に干ばつ 東アフリカ沿岸諸国に洪水	アフリカ中南部に洪水と干ばつ